

科目ナンバリング		U-LAS55 10002 SB31							
授業科目名 <英訳>	海外実地セミナー :東南アジアの再生可能エネルギー開発 Overseas Field Seminars :Development of Renewable Energy in ASEAN				担当者所属 職名・氏名	エネルギー科学研究科 准教授 尾形 清一 総合生存学館 教授 IALNAZOV, Dimitar Savov			
	群	キャリア形成科目群		分野(分類)		多文化理解		使用言語	日本語及び英語
旧群		単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・ 前期集中		曜時限	集中 未定		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
東南アジア(タイ・バンコク/チェンマイ)等に所在する大学及びNSTDA(Thailand National Science and Technology Development Agency)を訪問し、エネルギー・環境・持続可能性に関わる技術・経済・社会に関わる基礎理論を学習し、再生可能エネルギー導入時の問題点および将来展望について学ぶ。									
【到達目標】									
再生可能エネルギーの特徴を踏まえ、地域に適合した技術導入についての課題を文理双方の視点から統合的に理解する。そして、SDGsやカーボンニュートラル実現に向けた技術・社会経済・事業モデルの在り方学ぶ。また、このセミナーで学んだ知識を基に、東南アジアの地域におけるカーボンニュートラル実現に向けた具体的な事業モデルを検討し、政策提案につなげる。									
【授業計画と内容】									
出発日前事前授業間(受講生の都合のつく時間帯に3コマ程度を実施)									
本年度は、2026年9月に実施する予定である。 本年度の講義は、バンコク・NSTDAを拠点にして研修・現地調査・講義等が実施する。 以下は、スケジュール例である									
第1日 日本出発 バンコク到着 * NSTDAが所在するタイランド・サイエンスパークに移動し滞在する * タイランド・サイエンスパークは、大学・研究所・ホテル・レストラン・病院等が集積する複合施設で、このサイエンスパークを拠点にして研修及び学習を行う。									
第2日 NSTDA(MTEC・TIIS)で、講義(タイと日本のエネルギー利用の特徴) NSTDAの研究施設で研修 循環経済・農業に関わる技術研修									
第2日 NSTDAの研究施設での研修 エネルギー・環境・持続可能性に関わる技術研修									
第3日 再生可能エネルギー施設訪問(フィールドワーク・バンコク近郊・工場見学)									
第3日 タイ・文化施設訪問・再生可能エネルギー開発に注目するバンコク市内の学部学生等との交流会									
第4日 サーキュラーエコノミー調査(フィールドワーク・バンコク郊外・スマート農業等の事例調査)									
第5日 グループ討論(再生可能エネルギー・カーボンニュートラル実現に向けたビジネスモデル・政策モデルの検討)									
海外実地セミナー:東南アジアの再生可能エネルギー開発(2)へ続く									

第5日 バンコク発 日本到着（翌日）

日程は都合により変更される場合がある。

- \* NSTDAのシニアリサーチャー及びジュニアリサーチャーの協力を得て学習と研修を進めます。
- \* 再生可能エネルギー開発に注目するバンコク市内の大学の学部学生等の交流会が予定されています。
- \* 現地調査の都合で、タイ北部・チェンマイに移動して現地調査を実施する場合があります。

帰国後に、地域におけるカーボンニュートラル実現に向けた具体的な再生可能エネルギー開発のモデルを検討し、レポートとして提出すること。

**【履修要件】**

- 履修定員：5名（最小遂行人数：2名）  
説明会について：受講希望者は、5月頃（予定）に行われる説明会に出席のうえ、説明会で配付される応募書類を期日までに提出すること。  
選考方法について：受講者については、「志望理由」等に基づき総合的に選考を行う。  
履修取消について：本科目は履修取消対象外の科目となるため、履修登録確定後の取消はできない。
- ・安全講習の受講、学研災付帯海外留学保険への加入。
  - ・志望理由書の提出を求めます。詳細は、国際高等教育院事務部からの指示に従ってください。

**【成績評価の方法・観点】**

現地での学習状況(50%)、現地での発表会報告内容もしくは帰国後提出するレポート(50%)に基づき採点する

**【教科書】**

使用しない

**【参考書等】**

（参考書）  
授業中に紹介する

**【授業外学修（予習・復習）等】**

事前授業を含め、すべての行事に参加すること。本科目は、文系・理系の両面から学習します。

**【その他（オフィスアワー等）】**

前期の採点報告日以降に実施するため、成績報告が前期に間に合わない可能性がある

旅費は自己負担となる。費用の目安は、航空運賃・滞在費などを含めて25万円程度（2024年実績）である。

本科目は、フィールド調査の現地状況等の都合によって不開講となる可能性がある

**【主要授業科目（学部・学科名）】**